

Q なぜ、患者給食を

民間委託にするのですか？

A 新市民病院の開院時には、患者給食業務を現在の直営方式から民間委託方式とする方針を決めました。

このことに関して、昨年12月市議会定例会に「蒲郡市民病院の患者給食直営を求める請願書」が署名簿を添えて提出されましたが、審査の結果、不採択となりました。

市は、昭和60年11月に「蒲郡市行政改革大綱」を策定して以来、各種の合理化政策を実施してきましたし、民間活力の導入も行ってきました。

患者給食業務の民間委託も「行政改革の一環」として経費の節減と患者サービスの一層の向上を図るために行うものです。

患者給食業務は、朝6時から夜7時までの仕事です。1人の職員が1日中勤めるわけにはいかず、また、新病院では各階の患者食堂で温かい食事を味わっていただくため、食事の時間帯に多くの人員を配置する必要がありま

す。民間委託の場合は、必要な人材を必要な時間帯に配置できる柔軟性を持っており、経済的な運営ができません。

患者給食業務を 民間委託します



新市民病院の患者給食業務を民間委託することについて、皆さんのご質問にお答えします。

Q 他市の病院でも民間委託が

行われているのですか？

A 患者給食は治療の一環であるという観点に立っています。法律によって民間に委託することが認められています。

現在では、アメニティーの向上や多用化する患者さんのニーズに 대응するために、民間委託を進める病院が増えていきます。

県下の21の公立病院では、11の病院（全面的8病院・部分的3病院）が民間委託をしています。その他でも、民間委託を検討している病院がいくつかあります。

Q 民間委託をしても栄養管理や

食材は大丈夫ですか？

A 病院と委託業者との間で運営管理の分担については事前に十分協議の上行いますし、給食部門の全般管理は病院が責任を持って行います。食材も献立表に従い、できる限り旬のもの、地のものを使うようにします。

民間委託反対の署名運動に使われたチラシの中に、民間委託をすると「冷凍食品やカット野菜が多用され、給食の質の低下が心配されます。」などと書いてあり、市民の皆さんが心配されたようです。

現在民間委託を実施している病院を視察し調査を行いました。そのような心配はないようです。

Q 民間委託をすることが、患者への

サービスの向上になるのですか？

A 新病院では、温かい食事と患者さんの好きなものを選べる「選択メニュー」を毎日実施して入院生活を潤いのあるものにしていただく計画です。

サービスを充実するには、多くの人手と専門的なノウハウが必要で、民間活力導入が適している分野です。